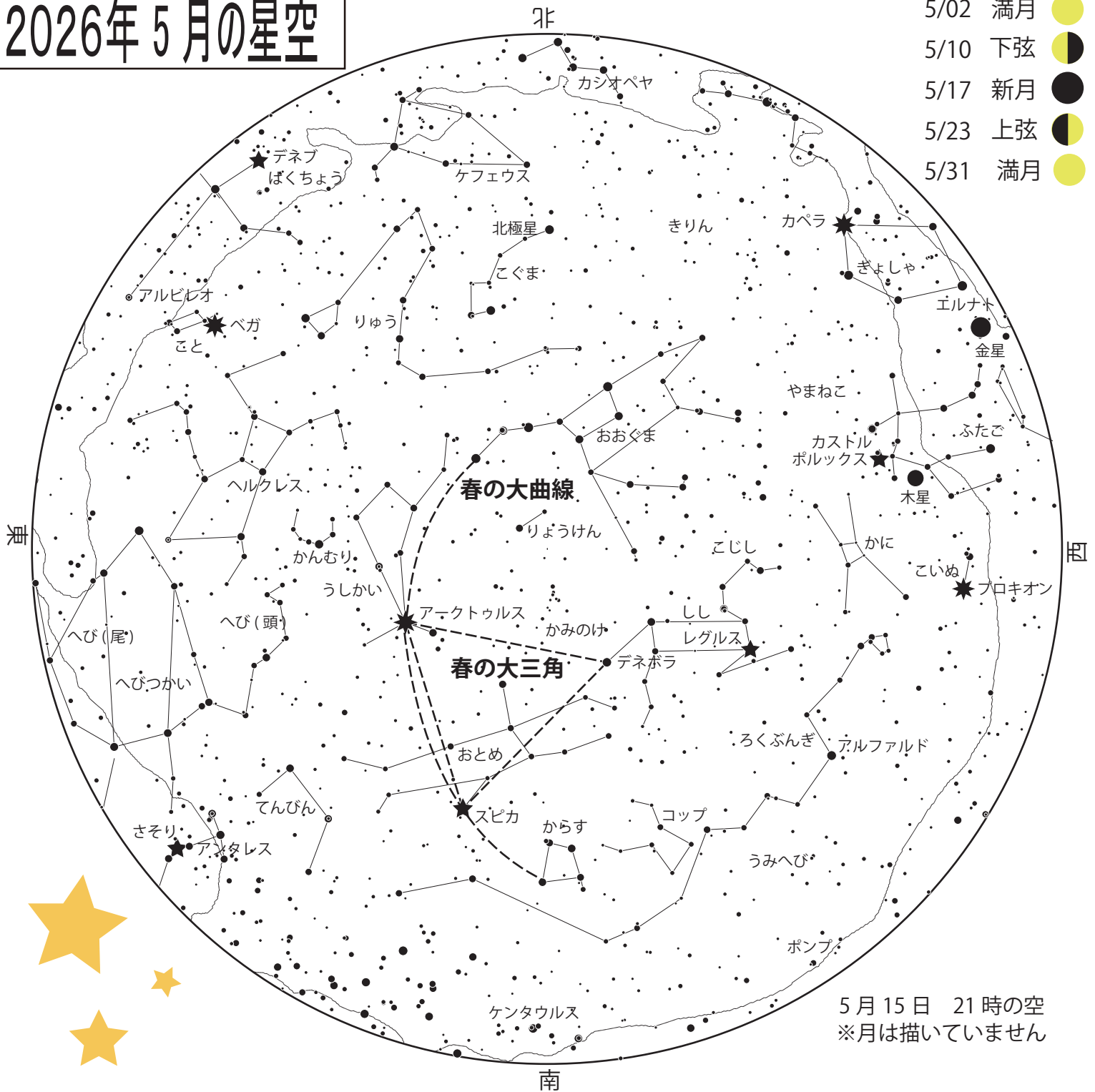


姫路で見る 2026年5月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 5/02 満月 
- 5/10 下弦 
- 5/17 新月 
- 5/23 上弦 
- 5/31 満月 



5月15日 21時の空
※月は描いていません

5月5日に二十四節気の**立夏**を迎えると、夏の気配が漂って最も過ごしやすい季節になります。5月21日には**小満**となり、カイコ・紅花・麦などの生き物が**太陽**の光を浴びて成長する頃になります。

明るい星で賑やかだった冬の星座は西に傾き、冬のシンボルだった「冬の大雪」は、西の地平線に沈んでいきました。代わりに、夜空には春の星座が出そろっています。春の星空の道標といえば、**おおぐま座**の尻尾で目立っているひしゃくの形の「北斗七星」でしょう。水をすくう器の先の2つの星の間を北の空に5倍伸ばすと「北極星」が見つかります。「北極星」は**こぐま座**の尻尾の先にある星です。ひしゃくの柄のカーブをそのまま伸ばしていくと、**うしかい座**の一等星**アークトゥルス**、**おとめ座**の一等星**スピカ**が見つかります。さらに伸ばすと、四角い星の並びの**からす座**に到着します。この「北斗七星」からからす座に続くカーブが「春の大曲線」です。**アークトゥルス**、**スピカ**、**しし座**の**デネボラ**を結ぶ三角形は「春の大三角」で、どれも春のシンボルです。

惑星では、**木星**が**ふたご座**の領域を東に移動しています(順行)。宵の西の空に見え、明るさはマイナス2.0等からマイナス1.9等です。